

1

くわしくあらわすことば

考え方

一つの文は、主語・述語を中心に、さまざまに「くわしくあらわすことば」で肉付けされながら組み立てられています。「くわしくしている」「くわしくされている」という関係が難しいようであれば、矢印(↓)などで図示してあげるとよいでしょう。

3 は少し難しいですが、「どんな」「だれが」といった言葉をヒントに考えてもらいましょう。

答え

- 1 20ページ参照
- 2 1 お月さま 2 スカート 3 海
- 3 1 (どんな) きれいな (どのように) きらきらと
2 (だれが) 母が (どうした) 作った
- 4 1 【例】 白い 2 【例】 おもしろい
3 【例】 かわいい

2

「。」「、」「」を正しく使うこと

考え方

1・2 では、一年生でも学習した句読点の基本がおさえられているかを確認してあげてください。また、3・4 は少し難しいですが、読点(、)を打つ位置によって文の意味が変わることを意識させるとよいでしょう。

答え

- 1 イ 2 ア 3 イ
- 2 | ページ参照
- 3 1 ア 2 イ 3 ア
- 4 1 友だちは、わらいながら走ってきた弟をよび止めた。
2 妹は心ばいそうに、出かけるぼくを見おくった。

3

正しい文に直すこと

考え方

文章を書くときは、漢字やひらがな・かたかなの表記はもちろん、接続語や時制、文章のねじれ、常体と敬体の統一など、さまざまな点に気をつける必要があります。文章を書いたあと、自分で見直しをするように指導してあげてください。

答え

- 1 23〜24ページ参照
- 2 3 ↓ なっていたからだ
- 5 ↓ ホットケーキ
- 6 ↓ 交わしていたら
- 7 ↓ 言った

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら!

Z会の本



かっこいい小学生になろう